

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2020-2021

JAN. 2021 No. **7**



Rotary
District 2680



Rotary Opens
Opportunities

GOVERNOR OFFICE

Hideo Takase | Kobe Portopia Hotel 722, 6-10-1, Minatojima-Nakamachi, Chuo-ku, Kobe, Hyogo, 650-0046, Japan

ロータリーのビジョン

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

ROTARY'S VISION STATEMENT

TOGETHER WE SEE A WORLD WHERE PEOPLE UNITE AND TAKE ACTION TO CREATE LASTING CHANGE ACROSS THE GLOBE IN OUR COMMUNITIES AND IN OURSELVES

国際ロータリー第2680地区

I. 地区ビジョン

私たちはロータリーの「奉仕の実践」・「中核的価値観」を推進し、自らの人間力を高め、活気にあふれ、魅力あるクラブを目指し、地域社会や世界に持続可能な良い変化を生むために行動します。

II. 地区戦略計画

① 会員増強

会員基盤の多様化を図り、地区全体の会員数を3,000人台に回復する。

② 奉仕の実践

- クラブ奉仕：My ROTARYの登録率75%以上を目標とし、ロータリーのIT化を推進する。
- 職業奉仕：当地区の誇る職業奉仕の理念を継承し、発展させる。
- 社会奉仕：全クラブが地区補助金奉仕プロジェクトを実施するように推進する。
- 国際奉仕：毎年5クラブ以上がグローバル補助金（人道的プロジェクト）・グローバル補助金（VTT）・グローバル補助金（奨学金）のいずれかを実施するように推進する。
- 青少年奉仕：青少年に関する3つのプログラム（インターアクト・RYLA・青少年交換）を積極的に推進し、ローターアクトとの連携を深め、次世代につなげる。

③ 研修

ロータリアンが中核的価値観を推進し、人間力を高める研修の充実、強化を図るように努める。

④ ロータリー財団・米山記念奨学金の充実

地区運営方針に基づく寄付目標を達成するように推進する。

CONTENTS

GOVERNOR'S LETTER	1
戦略計画委員会より	2
職業奉仕・職業倫理セミナー	4
クラブ管理運営セミナー	5
会員維持増強セミナー	6
青少年奉仕セミナー (社会奉仕委員会・国際奉仕委員会)	7
社会奉仕セミナー	8
クラブ管理運営委員会より	9
我がクラブの魅力・自慢&公式訪問報告	12
100%ポール・ハリス・フェロークラブ(豊岡RC)	14
新会員紹介	15
ご寄付ありがとうございます	15
ガバナー事務所からのお知らせ	16
1月の地区活動予定	16
訃報	16
出席報告	17
地区大会のお知らせ	

本年度の表紙

2020-21年度、表紙絵は西脇市出身の世界的な美術家、横尾忠則氏に依頼し、西脇市や兵庫県に縁のある作品をご提供いただき、掲載させていただいております。ご存知の方も多いと思いますが、2019年のNHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック噺〜」の題字・ポスターは横尾氏がデザインされたものです。また、神戸市灘区にある横尾忠則現代美術館では横尾作品の企画展が随時開催されていますので、是非一度ご来館ください。

今月の表紙

表紙絵作品名：暗夜光路N市-Ⅲ（西脇市西脇）
西脇市の村上喜兵衛邸前のY字路が舞台。現在は、手前にある白壁の建物がなくなり景観が変わっている。鯉の泳ぐ水路や、古い街並みは、横尾氏が西脇に住んでいた少年時代の風情を感じさせる。

クラブ会長の皆様 クラブ幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区
ガバナー 高瀬 英夫 (西脇)

明けましておめでとうございます。

当年度後半が始まりました。COVID-19の先行きは見通せません。まず会員、ご家族、従業員の皆様の健康に最大限のご配慮をお願い致します。そしてロータリーの魅力を語り継ぎ、ビジョンを共有し、出来ないことを嘆かず、出来る事をしっかりやり切り、次の100（飛躍）年に向かいましょう。

7月～12月の公式訪問では大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。公式訪問を出来るだけ実り多いものにすべく心掛けた諸点を振り返りながらいくつか列記し、皆様と共有し、後半に向け一層気持ちを引き締めてまいりたいと思います。

- (1) ガバナーとしての役割は？
- (2) いかにか会長幹事様、クラブの思いをくみ取り共有できるか？
- (3) そのための準備は如何にすべきか？
- (4) クナーク会長のテーマをより深く理解して頂くためには？
- (5) コロナ禍での経験を今後のクラブ、地区運営にいかにか生かすか？
- (6) 総括しての気付きは？
- (7) 引き続きのお願い事項は？

上記について、7～9号に（3月7日の地区大会までに）分けてまとめます。今号では、

(1)～(3) についてお伝えいたします。

(1)・(2) ガバナーの役割・クラブの皆様との思いの共有

各クラブの良いところに目を向け、他クラブ

へ伝え、それぞれのクラブにふさわしい形で取り入れていただき、それによりクラブを元気付け、活性化させ、結果として地区全体の成長につなげる。

(3) 公式訪問に臨むにあたっての準備は？

私を含め関係者全員にとり、実り多い成果を生むべく、あるアドバイスを意識して公式訪問に臨みました。それは下記の「七読のすすめ」です。公式訪問だけでなく、多くのビジネスシーンで応用可能です。ご活用いただければ幸いです。

- ① さっと読んで
 - ② キーワードを探し
 - ③ 通して読み
 - ④ 良いところを評価し
 - ⑤ 更に良いところはないかを探し
 - ⑥ キーワードを頭に入れて
 - ⑦ どう表現するかを自分の言葉で頭に入れる
- 7回読むと、2～3回では吸収できなかった内容が向こうから飛び込んで来て太字に見える。「あっ、これがキーワードだ！」と気付く。

これが掴めると、会長幹事意見交換の筋書きがほぼ出来上がり、1時間を有効に活用できたと考えています。

月信8号（2月号）では、(4)・(5) について報告いたします。



ロータリーのビジョンと戦略計画について(2)

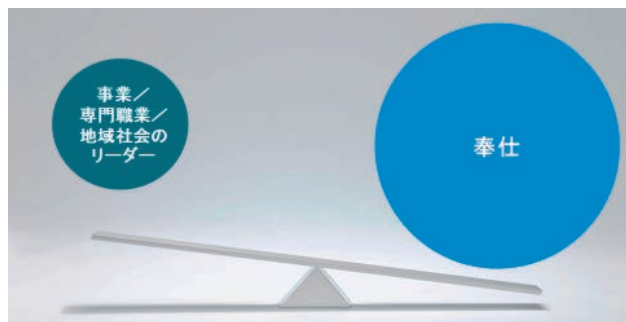
戦略計画委員長 矢野 宗司 (加古川中央)

1. 国際ロータリーのビジョンと戦略計画

2010年、国際ロータリー (RI) 理事会は戦略計画としてロータリーのビジョン、中核的価値観、3つの優先項目を採択しました。そして、ロータリーのビジョンは

私たちは、世界中の地域社会における人々の生活の改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブから成り、人々から選ばれる奉仕組織である。

とされました。すなわち、ロータリーは人道的奉仕団体として位置づけられることになりました。



しかしながら、ロータリーを人道的奉仕団体としてのみとらえる一元的な考え方に対して、とりわけ、日本では違和感を感じるロータリアンも多数いました。多くのロータリアンは奉仕をするためにロータリーに入会するのではなく、ロータリーに入会することによって、親睦を深め、そして奉仕の機会を得、奉仕の理念を学び、奉仕の実践を行うのであり、その会員基盤こそがロータリーの魅力であります。

また、ロータリーにとって不変の価値観として中核的価値観、すなわち、親睦 (Fellowship)、高潔性 (Integrity)、多様

性 (Diversity)、奉仕 (Service)、リーダーシップ (Leadership) が明示されましたが、これらはどれを欠いても、ロータリーの優位性はなくなります。その後、RIは会員基盤を重視することにより、下記のような考え方に変わりました。



また、RIは行動指針として

1. クラブのサポートと強化
2. 人道的奉仕の重点化と増加
3. 公共イメージと認知度の向上

の3つの優先項目を掲げ、そのもとに16の目標を定めました。

さらに、2015年10月のRI理事会は下記の事に同意しました。

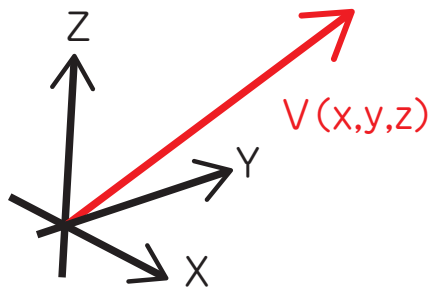
ロータリーは時代に追いついていかなければならない

ロータリーは時代に適応しなければならぬ

ロータリーは将来への備えができていなければならぬ

これにより、ロータリーは時代への対応として、**多様性、柔軟性、革新性**をキーワードに進むこととなります。近年、急速に変化するRIの方向性は、すべてこのキーワードによるものです。それが具体的な形で現れたのが、2016年の規定審議会でした。そこでは、多様性、柔軟性を強調した大改革が行われました。

国際ロータリーのベクトル



X 多様性 Y 柔軟性 Z 革新性

そして、新たに出されたのが2017年の新しいビジョン声明です。

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

ここでは「奉仕組織」という表現は消え、「世界を変える行動人 (People of Action)」という表現に変わります。また、新しいビジョン声明を実現するため、今後5年間のロータリーの活動の指針となる4つの優先項目が定められました。

1. より大きなインパクトをもたらす
2. 参加者の基盤を広げる
3. 参加者の積極的なかわりを促す
4. 適応力を高める

の4項目です。そして、そのもとに14の目標を掲げました。

2. 地区のビジョン

この新しいビジョン声明と新たな優先項目を受けて、前年度、浅木ガバナーの要請のもと、地区戦略計画委員会は地区のビジョンと戦略計画を作成しました。この作成には当時の浅木ガバナー、高瀬エレクト、吉岡ノミニ、さらに委員として阪上現ノミニも携わっており、この地区のビジョンと戦略計画は4代にわたるガバナーによって承認を得たこととなります。

これまでロータリーは単年度制が重視されてきました。地区のガバナーしかり、クラブの会長しかり、いずれもその年度は自らの信念に基づいて運営をします。しかしながら、単年度制

による運営にはロータリーの未来像が欠如します。将来を見据えたビジョンを備えなければ、その年度のリーダーの単なる自己満足の実現だけに終わってしまうリスクもあります。今、ロータリーに求められているのは、確かなビジョン、まさにロータリーの未来への絆であります。

地区ビジョンは国際ロータリーの新しいビジョン声明を踏まえながら、当地区の伝統と特性を踏まえて作成されました。

私たちはロータリーの「奉仕の実戦」・「中核的価値観」を推進し、自らの人間力を高め、活気にあふれ、魅力あるクラブを目指し、地域社会や世界に持続可能な良い変化を生むために行動します。

地区ビジョンの核になるのは、「奉仕の実戦」・「中核的価値観」の推進です。人道的奉仕を実践し、かつロータリーの普遍的価値観である「親睦」・「高潔性」・「多様性」・「奉仕」・「リーダーシップ」の推進はロータリーという組織のあり方と方向性を定める原動力であり、ロータリーが他の団体に対して持つ優位性であります。それによってロータリアンが人間力を高め、活気にあふれ、魅力あるクラブを形成することによって、地域社会や世界に持続可能な変化をもたらすことができます。このような思いから地区ビジョンは作成されました。

また、地区ビジョンはクラブのビジョン作りの指標でもあります。是非、各クラブがクラブの伝統並びに会員のコンセンサスを踏まえることにより、クラブ独自のビジョンを作成して下さい。そして、そのビジョンを具現化するための戦略計画、行動計画をしっかりと立てて下さい。

クラブが明確なビジョンと戦略計画を立てることにより、会員の満足度が高まり、ロータリーの将来に対する肯定的、楽観的な考えも増加していきます。

次回はこれを踏まえて、地区の戦略計画（行動計画）とクラブの戦略計画について触れていきます。

11月14日(土)◆神戸ポートピアホテル南館B1 トパーズの間

職業奉仕・職業倫理小委員会委員 **赤穂 哲**(姫路南)

神戸ポートピアホテル南館地下1F「トパーズ」において、本セミナーが開催されました。COVID-19感染拡大防止の観点から体温測定・手指消毒・マスク着用を遵守して実施しました。

大内晋二小委員長のご尽力により、当委員会待望の2620地区ガバナーエレクトの小林聰一郎氏に講師としてお越しいただき、開催が実現いたしました。

さて、セミナーの内容ですが

第一部 講演「ロータリーの正統・日本の職業奉仕」

講師 小林聰一郎氏

第二部 座談会(小林聰一郎氏を囲む)

パネリスト 小林聰一郎氏・安平和彦パスト

トガバナー・吉岡博忠ガバナーエレクト

司会 大内晋二小委員長

という二部制で実施されました。

職業奉仕につきましては、昨今2840地区パストガバナー本田博己氏がロータリーの根幹は奉仕の理念(The ideal of service)であるという小論をロータリーの友に掲載され話題となっております。

それに対し小林聰一郎氏はロータリーの根幹は職業奉仕であるとロータリーの友に掲載され

ました。

その主張されるところは次の通りです。

日本独自の職業奉仕概念の深化として、日本における職業奉仕概念を深めてきた歴史は、日本人の感性で培ってきた豊かな思考の森です。決して時代遅れの服を着て世界万人の目にさらされている「日本の職業奉仕」ではありません。カジュアルなTシャツにジーンズばかりが先端ではないのです。理念もお手軽なカジュアル化に向かうロータリー世界で思想的な先端にいるのが「日本の職業奉仕」です。

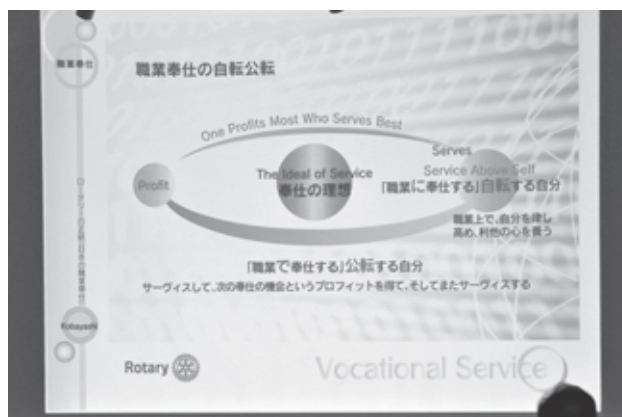
100年をかけて考え続けてきたロータリーの正統「日本の職業奉仕」こそロータリー世界の宝なのです。

又、日本の職業奉仕は職業に奉仕する、つまり自分自身の問題としてとらえる。

自分を成長させる手ごたえに職業奉仕があればよい。

と講演されました。

以上非常に有意義な1日を迎えることができました。



11月21日(土)◆神戸ポートピアホテル本館B1 偕楽の間

クラブ管理運営委員長 矢坂 誠徳(神戸西)

さる11月21日の午後2時より、神戸ポートピアホテル本館B1 偕楽の間におきまして、クラブ管理運営セミナーを開催致しました。

COVID-19禍の中での開催となったため、会場への無理な出席依頼は行わず、会場不参加のクラブ会員にはオンデマンド（当日の内容を録画して地区のホームページ上で閲覧する）方式を説明してのセミナーと致しました。

司会進行は滝内秀昭委員にお願いし、講師として、「より良いクラブ管理運営についての考察」と題して中村尚義パストガバナーにお話を頂き、その後は「COVID-19禍におけるクラブ戦略計画の立て方」の講演を矢野宗司パストガバナーにお願い致しました。

お二人によるご講演は、現在のクラブの運営について非常に参考になる内容でした。セミナー動画は、地区ホームページの到着動画コーナーにて公開しておりますのでぜひご覧ください。

また、医療関係者として神戸西ロータリークラブ会員の芦名謙介医師から、感染拡大が続く今日

の状況についての対策と注意点について、お話し頂きました。

委員会からのお願いでは、山口幸OM推進小委員長からオンラインの取り組みを説明致しました。

当日、高瀬英夫ガバナー、石丸鐵太郎パストガバナー、浅木幸雄直前ガバナー、吉岡博忠ガバナーエレクト、阪上栄樹ガバナーノミニ、今田学志ガバナー補佐、齋藤太紀雄代表幹事、白井良夫次期代表幹事のご出席を賜り無事に終了致しました。

尚、クラブ管理運営委員会のメンバーは全員出席。OM推進小委員会から山本裕計委員、大河内健太郎委員、中右剛彰委員、竹内博委員がセミナー撮影、機材の設置などオンデマンド方式に対応いたしました。

ホテル関係者の皆様にもご配慮いただき、安全を期しての取り組みの中、セミナーを無事終えることが出来ました。



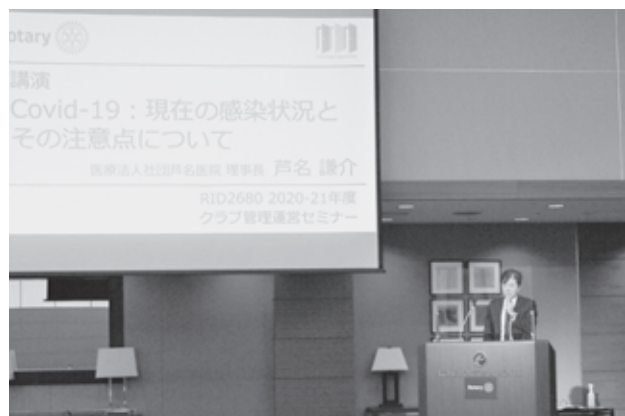
高瀬英夫ガバナー



矢野宗司パストガバナー



中村尚義パストガバナー



芦名謙介会員

「会員維持増強とクラブの役割」

12月6日(日)◆神戸ポートピアホテル南館B1 トパーズの間

会員維持増強委員長 **宇尾 好博**(神戸中)

コロナ禍にも関わらず、地区内33クラブから38名、地区関係者23名の計61名が参加して開催された。冒頭に今年度新会員が映像で紹介された。高瀬ガバナーの挨拶に続いて宇尾好博会員維持増強委員長から「会員維持増強とクラブの役割」と題して主旨説明が行われた。冒頭に、「魂の導火線に火をつけろ」のタイトルが映し出された。

クラブの会員は、会長方針を十分に理解することが必要ではないだろうか。

クラブは、組織として会員維持と増強に取り組む必要がある。会員増強は、会長幹事が増強バカになり、担当は増強委員会である。ところが、会員維持はどの委員会が中心になって担うのかが明確になっていないのではないだろうか。会員維持に各委員会が連携して取り組むためにクラブアッセンブリー、クラブフォーラムの有効活用とロータリーを語るロータリアンづくりが大切ではないかとの話があった。

次に、1年間で51人の会員増強を行った高崎RCについてRID2840PDG田中久夫氏の報告(映像)で事例を学んだ。



令和3年2月7日(日)開催予定の「会員維持増強ロータリアンサッカー大会」の案内が行われた。

また、RID2680PDG矢野宗司氏が、「日本で初めての新会員同期会が、2018-19年度当地区で「平令会」として誕生した。新会員のネットワークづくりと会員維持増強に大事な会であり、高瀬年度の同期会設立に新会員は参加して頂きたい。」と話され、「平令会」世話人の山本裕一氏(加古川平成)から同期会についての話があった。

最後に、会員維持増強事例発表「私にとってのロータリーと会員維持増強」が行われた。会長の想いを加古川中央RC会長の長谷川輝幸氏、神戸中RC会長の志磨憲一郎氏が語り、クラブ合併時の自らの体験を明石東RC 2019-20年度会長の阪田真也氏が話された。次に、5年間会員増強が続いている南淡路RC会員増強委員長の野村将司氏の発表が行われた。

セミナーは、吉岡博忠ガバナーエレクトの挨拶で閉会した。参加された会員に会員維持増強のキックオフ宣言を色紙に書いて頂いた。



青少年奉仕セミナー(社会奉仕委員会・国際奉仕委員会)

12月6日(日)◆神戸ポートピアホテル本館B1 和楽の間

社会奉仕副委員長 **坂東 隆弘**(柏原)

COVID-19禍、神戸ポートピアホテルとZoom配信による青少年奉仕セミナーを12月6日、12時30分～16時に開催しました。感染防止対策として、フェースシールド・ソーシャルディスタンス、座席指定、約1時間ごとに休憩・換気と出来得る対策をとりました。当日会場出席者は、70名、Zoomでの参加者は、12名と多くの会員の方にご出席いただきました。

定刻に安行英文国際奉仕副委員長の司会進行の下、矢野宗司社会奉仕委員長の開会挨拶、高瀬英夫ガバナーのご挨拶に始まり、来賓としてRID2580 嶋村文男ガバナーノミニ、加藤幸夫ガバナー補佐、RID2700 田村志朗広報公共イメージ向上委員長とZoomでご参加の安平和彦パストガバナーのご紹介を行いました。当地区青少年奉仕への注目度がうかがわれます。

今回のセミナーのテーマは「青少年奉仕におけるロータリアンの役割」を考えてもらうものでした。

テーマ講演として、坂東隆弘社会奉仕副委員長が、青少年奉仕の目的、クロスプロモーションの意義、ロータリアンのカウンセラーとしての役割を話し、そしてRI会長テーマでもある「ロータリーは、機会の扉を開く」と青少年に対しご理解と気付きのチャンスを多く与えていただくようお願いしました。

休憩後、大谷秀明インターアクト (IA) 委員長が、IA例会への出席義務を提唱RCに確認さ

れ、つづいて岩本敏浩豊岡総合高校IAC顧問教諭の素晴らしい豊岡総合IACの活動報告、そして顧問教諭の指導力と豊岡RCとの連携にIAの理想をみました。

休憩をはさみ、ローターアクト (RA) について、古川忠之RA委員長から今年度は重要な変革年度であること、会員増強についてと、奥田裕RA副委員長に、ローターアクトの今後の変更点についてロータリー章典から詳しくそして分かりやすく解説していただきました。そして2022年3月26・27日に開催される「第34回全国ローターアクト研修会」について中井満理子実行委員長 (柏原RAC) より説明があり素晴らしい企画に胸が躍りました。

休憩後、昨年、中止延期になった第42回RYLAセミナーについて、田中賢一RYLA委員長より案内がありました。引き続き、三木健義青少年交換委員長より、本年度の交換事業の中止の経過と次年度へ向けての準備についての説明があり、2019-20年度派遣生の木村乃衣さんより、ベルギーでの体験、将来の夢などのお話、そして、青少年交換学友の木下茉莉華会長から、アメリカへの派遣経験と、学友会について素晴らしい発表がありました。最後に吉岡博忠ガバナーエレクトより講評を頂き、武田寿子国際奉仕委員長から閉会のご挨拶でセミナーは終了いたしました。



12月6日(日)◆神戸ポートピアホテル南館B1 トパーズの間

社会奉仕委員長 **矢野 宗司**(加古川中央)

COVID-19の感染拡大のため、セミナーに直接参加できない人にはオンデマンドで配信する形式でセミナーを開催しました。

まず、矢野宗司社会奉仕委員長より「ロータリーの社会奉仕」をテーマに、ロータリーの基本理念と奉仕の歴史について一時間にわたる講演が行われ、ロータリーの社会奉仕についての歴史的な流れについての解説を行いました。続いて、瀬戸徹社会奉仕小委員長より、本年度の地区補助金プロジェクトとCOVID-19に対するクラブの奉仕プロジェクトについて、アンケート結果を踏まえた解説がありました。(各クラブの奉仕プロジェクトの実施状況は当日の資料をご参照ください。)

その後、COVID-19に対する奉仕プロジェクトの事例発表として、芦屋川RCが行った「マスク配布事業」について、瀬戸徹小委員長が発表、続いて、「フェイスシールドプロジェクト」について、神谷誠治2019-20年度尼崎グループガバナー補佐が発表しました。浅木年度において13グループのガバナー補佐を中心に行われたフェイスシールドプロジェクトでは、総数85,000枚を超えるフェイスシールドを県下医療機関に贈呈をしました。短期間にもかかわらず、各ガバナー補佐がリーダーシップを発揮したプロジェクトで、新聞紙面でも大きく取

り上げられました。

最後に「県立加古川医療センターへ重症患者用医療器具の寄贈」について、大村直加古川中央RC幹事が事例発表を行い、COVID-19の拠点病院での現況についての解説がありました。

セミナーの後半は竹田契一会員による「大人の発達障害の特性理解」～ロータリアンに知ってほしい基本情報～と題した講演があり、参加者は興味深く聞いていました。なお、例年1月に神戸芸術センターで開催される「発達障害理解のための基礎と実践講座」はCOVID-19の関係で、会場では開催されず、オンデマンドで行うこととなりました。

最後に次年度の地区補助金プロジェクトの申請に当たり、社会奉仕小委員会が窓口となり、その対応を担いますので、皆様のご協力をお願いします。



クラブ管理運営委員長 矢坂 誠徳(神戸西)

COVID-19感染拡大は高止まりとも表現されていますが、急速な勢いでなお広がっています。「GO TOトラベル」も年末年始、全国で一時停止が決定いたしました。

クラブ管理運営委員会では、高瀬ガバナーのご意向を受けて、地区内の各クラブにアンケート調査の提出を毎月お願い致しております。調査のまとめは、各クラブにメール発信するとともに、地区のホームページ及び月信にも掲載しておりますが、ご承知の会員はまだまだ少ないように感じます。クラブ事務局ならびにガバナー事務所は、クラブ会員の皆

様に「少しでもお役に立つ情報を」との意味を込めて取り組んでおりますので、ぜひクラブ運営の参考として、現状の危機管理の更なる強化にお役立てください。以下の文面は「注意喚起」としてお読みください。

例会の開催・クラブの運営について、11月21日(土)開催の「クラブ管理運営セミナー」にて、矢野宗司戦略計画委員長(パストガバナー)が、2020年4月の国際ロータリー(RI)理事会の決定事項の説明をされました。

2020年4月の国際ロータリー(RI)理事会の決定事項

ロータリアンの健康と安全を最優先とする。

ロータリーのプログラム・会合・行事の全参加者の健康と安全が何よりも重要である。ウイルス流行のため出席したくないと感じるいかなるロータリー参加者に対しても、直接顔を合わせる会合や行事への出席が義務づけられないものとする。

ロータリーの会合のすべての招集者と運営者は、直接顔を合わせる会合を実施するか否かを決定する際、あらゆる健康上の懸念を考慮することが強く奨励される。

つまり、国際ロータリー(RI)は、現在のCOVID-19禍においては、例会をはじめ会合や行事への出席義務は生じないとの判断をしているのです。

クラブ定款・細則には会合についての記載がありますが、現在の感染拡大の現状を十分に踏まえて例会及び各会合の開催を検討して

ください。このことについては、浅木年度工藤涼二規定審議委員長の「新型コロナウイルスと例会運営について」および黒田建一危機管理委員長の「コロナ禍とロータリー活動」も併せて各クラブにメール発信しておりますので、ご一読をお願いいたします。

従来のフェイス to フェイスでの例会開催は、密集を避けての座席配置、検温、手指消毒、マスクの着用を義務づけておられると思いますが、より徹底した換気を心がけてください。必ず窓や扉をある程度開放していただくのですが、外気温が低下する時期になりましたので、暖房を強めに設定した上で外気導入をお願いいたします。また、空調設備に換気機能が備わっているかどうかをご確認ください。

ハイブリッド例会はフェイス to フェイスでの参加に加え、例会場に行かない会員にはリアルタイム方式（Zoom等にてリアルタイムの配信）とオンデマンド方式（例会を録画してホームページ等にして配信）、また、フェイス to フェイス+リアルタイム配信+録画の方式もありますので、各クラブ内に於いて検討をお願いいたします。

上記のいずれも例会開催是非の最終判断は、クラブの管理主体は細則に定めるところによって構成される理事会ですので、理事会の審議、承認下となります。クラブ会員の医療関係者の方々のご意見を特に参考にさせていただきまして、より慎重なご判断をお願いいたします。

また会合や行事等のクラブ運営については、危機管理委員会の協議を経て、戦略計画委員会がCOVID-19禍においてのクラブ戦略計画を立案して理事会に付託することがクラブ管理運営の基本となります。なお、開催決定済の会合や行事を開催する際には懇親会等の会食はお控えいただくよう

をお願いいたします。

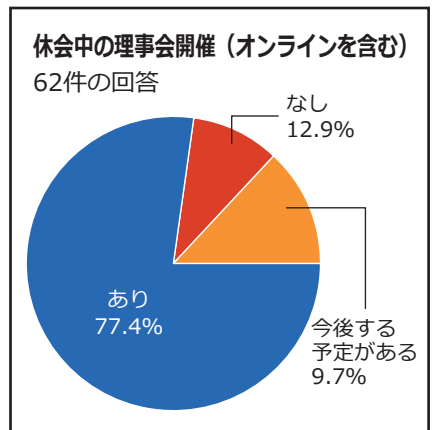
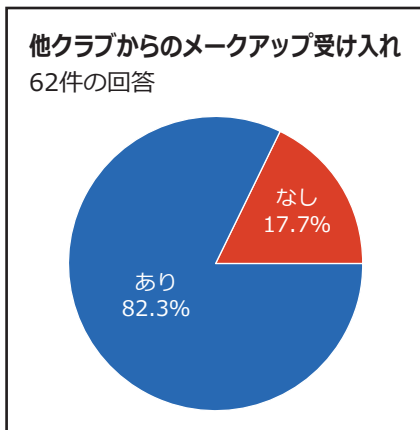
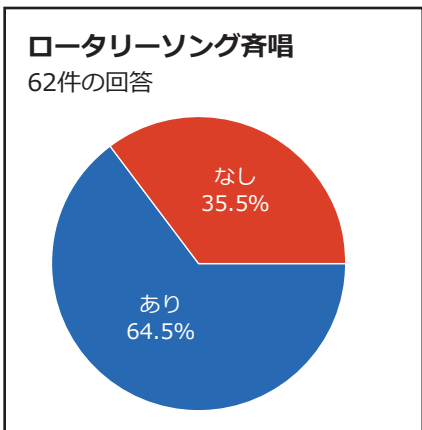
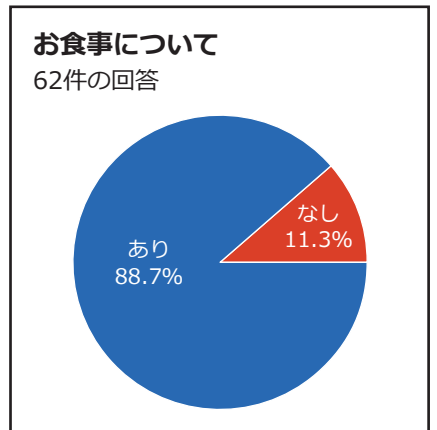
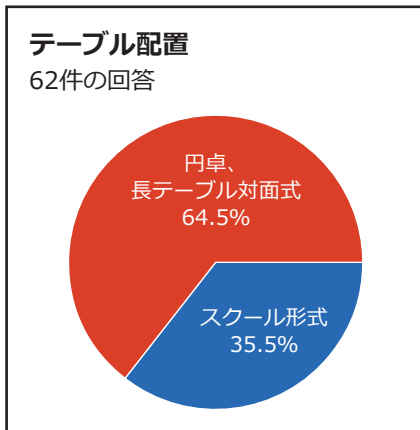
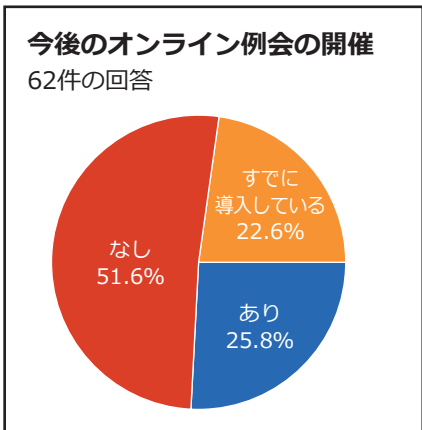
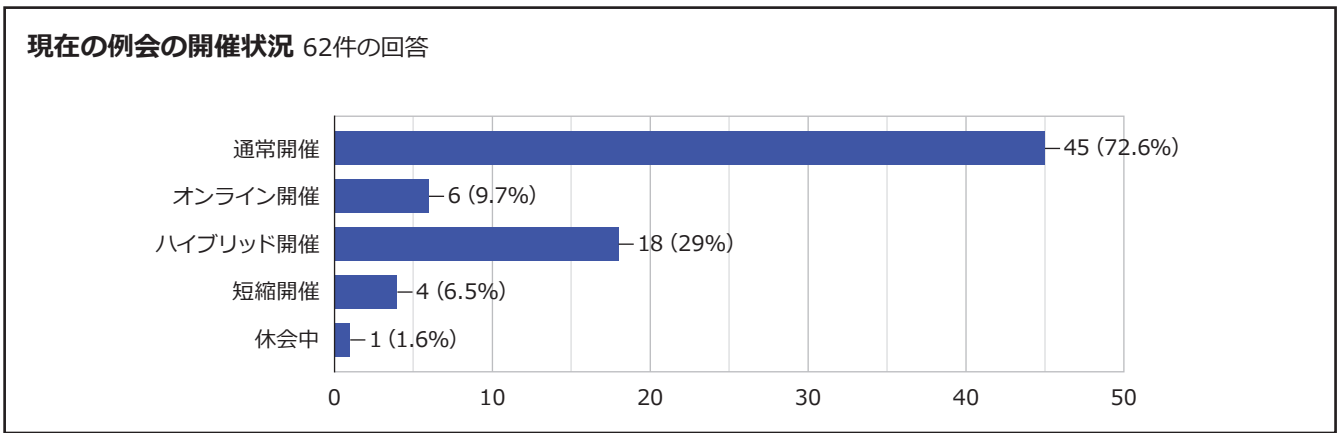
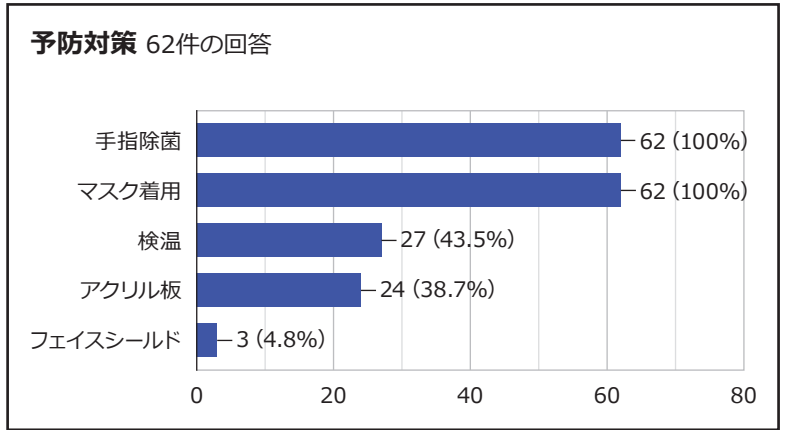
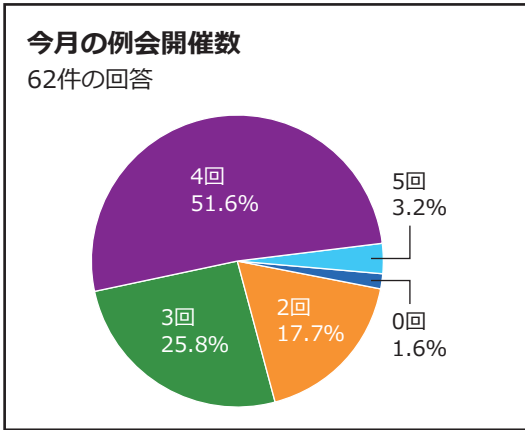
地区の委員会も大方はオンラインですが、フェイス to フェイスの委員会でも懇親会等は中止としております。

クラブ例会は、地区としてもフェイス to フェイスの例会がロータリークラブにとっては最も望ましいと考えていますが、今後もこのような感染の拡大と重症者の増加状況が続けば、「ロータリアンの健康と安全を最優先とする」というRIの理事会決定に基づき、オンライン例会（Zoom等）開催に切り替える必要が生じると思います。そのためにもクラブに「OM（オンライン）推進委員会」を設置していただき、まずは環境整備を優先事項としてとらえていただくことが重要と認識いたします。

以上のことをご理解いただき、1月以降のCOVID-19禍においても、より安全を保ちながら親睦を深めることを目指してのクラブ運営を、重ねてお願い申し上げます。

なお、オンライン例会（Zoom等）開催についてのご相談等は、ガバナー事務所を通して、クラブ管理運営委員会内のOM推進小委員会が対応いたしますので、お尋ねください。

なお、地区ホームページの新着動画サイトに11月21日(土)開催の「クラブ管理運営セミナー」をUPしていますので、現在のクラブ管理運営の参考としてご覧ください。ただし、パスワードが必要です。パスワードは各クラブ事務所にてご確認ください。



※HYOGOロータリーEクラブは、例会がホームページ上で行われる形式のため回答対象外とします。 ※未回答8クラブ

淡路三原ロータリークラブ



公式訪問

開催日:10月1日(木)
会場:淡路信用金庫市支店3階
開催形式:通常開催

〈クラブの魅力・自慢〉

当クラブは1963年2月23日に設立されて、現在18名の会員であります。少ない人数ではありますが、結束が強く親近感がございます。年齢層が広く、この地区で名前が知られている偉大な方々が多く在籍しています。私は、魅力ある会員の方々がいって同じ目標を目指せるという事で、当クラブに入会しました。

当クラブでは、これまで地域の清掃活動や植樹を行ってまいりました。これに加え今年度は、当会員のお子さんがお世話になった、チャイルドケモハウスを訪問し理解を深めて寄付をさせていただきました。



豊岡ロータリークラブ



公式訪問

開催日:10月2日(金)
会場:アールベルアンジェ豊岡
開催形式:通常開催

〈クラブの魅力・自慢〉

我が豊岡ロータリークラブは次年度創立70周年を迎えます。現在会員数40名で運営しています。

今年度はクラブ運営方針として“身近な触れ合いの場に積極的に参加しよう”を掲げ、各奉仕委員会、親睦活動委員会が立案する行事に多くの会員、ロータリーファミリーの参加を呼び掛けています。自クラブを分析し、良いところ、楽しいところの再認識しようと先輩会員のスピーチの場も設けています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で思うように進められていないのが現状です。

そんな中でも11月3日(祝)には豊岡総合高校インターアクトクラブの被災地支援活動の一環でインターアクト米収穫祭を開催しました。矢野社会奉仕委員長、坂東社会奉仕副委員長、吉岡ガバナーエレクトはじめ、2680地区内の多くのインターアクターに参加を頂き、総合高校岩本顧問はじめ、多くの方にお世話になる中、盛大に開催することが出来ました。



姫路東ロータリークラブ



公式訪問

開催日:10月5日(月)
会場:姫路商工会議所5階501ホール
開催形式:通常・リモート併用開催

〈クラブの魅力・自慢〉

1973年に会員28名で創立され、一時期は100名を超える勢いのある情熱を持ったクラブです。現会員数は67名(内女性会員4名)で、最年長会員が95歳、最年少会員は35歳でその年の差は60歳となりますが、ベテラン会員の気配りと指導を中堅会員が受け継ぎ、入会年数の浅い会員へ伝えるという連携が整っており、入会年数を気にする必要が無く自然に溶け込めるクラブです。

2年後には創立50周年を迎えますが、何事にもチャレンジする精神が強く、青少年交換留学には特に力を入れており、長年に亘り派遣生、来日生を受け入れ、クラブ会員が一丸となって、青少年交換活動を推進しております。

今後も創設時の情熱をもって、意識、知識の高揚を図るとともに「奉仕の精神」でクラブを盛り上げていきます。



北条ロータリークラブ



公式訪問

開催日:10月6日(火)
会場:いこいの村はりま
開催形式:通常開催

〈クラブの魅力・自慢〉

当クラブは、来年度で60周年を迎えます。総勢36名の小さなクラブですが、和気藹々とした雰囲気の中で、楽しく例会を開催しています。また4年連続100%出席を達成しております。

特に青少年奉仕と国際奉仕に力を入れており、毎年、青少年のバレーボール大会、野球大会、サッカー大会を主催しており、バレーボールと野球に関しては、青少年との親善試合を行い、クラブメンバーの健康にも配慮しながら実施しています。また、国際奉仕は、台湾の嘉義南区RCとの姉妹クラブを1980年11月に締結し、今年で40周年となり、本年度は5年に1度の友好調印の年となっており、益々交流を深めるいい機会と思っております。これから先も奉仕活動を休むことなく、進めていきたいと思っております。



生野ロータリークラブ



公式訪問

開催日:10月7日(水)
会場:但陽会館
開催形式:通常開催

〈クラブの魅力・自慢〉

生野RCは1957年(昭和32年)に当地区で13番目のクラブとして誕生しました。

昭和時代の入会メンバーは一人となっしまい、他のメンバーは全て平成の入会者です。今後、令和の会員を増やしていければと思っております。

風情あふれる鉱山町の一角にそびえる白亜の『但陽会館』で、毎年公式訪問を開催できることが大きな自慢です。会館は美術館として生野三巨匠「青山熊治」「白瀧幾之助」「和田三造」の絵画が常設展示してあります。

会員数は22名といささか控えめではありますが、個性豊かなメンバーのたゆまぬ努力でクラブ運営を行っています。毎週水曜日の午後12:30より例会を行っています。

お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。例会は『但陽会館 東館』で行っております。



龍野ロータリークラブ



公式訪問

開催日:10月8日(木)
会場:龍野経済交流センター
開催形式:通常開催

〈クラブの魅力・自慢〉

我が龍野ロータリークラブは、播磨の小京都といわれるたつの市、豊かな自然に囲まれた宍粟市、聖徳太子の縁のある太子町の2市1町をテリトリーとしています。

1959年(昭和34年)4月に設立され本年で62年になります。

現在41名の会員を有しており、県下クラブの中でエリア面積が最も広く、創立以来『親睦こそ我がクラブ』をモットーに、会員相互が人間的成長をめざして、毎週木曜日の例会を中心として日々自己研鑽に励んでいます。

コロナ禍が続き活動が困難な中、11月5日に西播第二グループフェスタとして、県立龍野高等学校で「命の授業」と題して腰塚勇人先生の講演会を主催して、多くの生徒たちに命の大切さを認識していただきました。

龍野ロータリークラブは、今後も地域ニーズにこたえ、地域に根ざした活動を着実に進めていきたいと思っております。



100%ポール・ハリス・フェロークラブ(豊岡RC)

豊岡ロータリークラブにおかれましては、会員総数40名（2020年10月末現在）のうち、あらたに会員24名がポール・ハリス・フェローとなり、このたび100%ポール・ハリス・フェロークラブに認証されました。

ポール・ハリス・フェロー



赤石 忠文



千葉 義幸



遠藤玄一郎



遠藤 剛



土生田尚士



濱上 将巳



井戸 督



兼先 正雄



笠原 泰藏



紀氏 隆宏



小松 浩樹



勾田 勝久



宮元 光明



村尾 隆之



西岡利一郎



中尾 二大



野田 昌男



大井 美行



田中 一成



谷 孝之輔



和田 和也



藪原 和三



山根 正和



山下 大輔

100%ポールハリスフェロークラブとは

「100%ポールハリスフェロークラブ」は、クラブの正会員全員がポール・ハリス・フェローになっているクラブに贈られます。（一度限り）

- ・このバナー認証を受けるには、認証を申し込む時点で、クラブの正会員全員がポール・ハリス・フェローになっていなければなりません。My ROTARYから「クラブ認証概要レポート」にて確認することができます。
- ・クラブには地区経由でバナーが送られます。一度限りのこの認証は、年度を通じて随時授与されます。

【申請方法】

クラブが要件を満たしていることを「クラブ認証概要レポート」で確認した上で、申請書を提出します。申請書には地区ガバナーとクラブ会長の署名が必要となります。

ワード書式をご希望の際は財団室までご連絡ください。

（「寄付・認証ロータリークラブの手引き」2020-21年度版より抜粋）



新会員紹介・一緒にロータリーライフを楽しみましょう(敬称略・クラブ順)

神戸東



橋本 耕治
税理士
11/24入会

神戸六甲



田中みのり
証券業
6/2入会

明石東



中谷 佳弘
食品加工機械製造・販売
12/3入会

高砂



春日 正史
調味料製造
10/23入会

高砂青松



森本 匡裕
住宅リフォーム
12/2入会

ご寄付ありがとうございます(敬称略・クラブ順)

ポールハリスソサエティー



橋本 一豊
(神戸須磨)



鈴木 一史
(神戸西神)



田中 洋
(豊岡)



工藤 涼二
(神戸西神)



滝内 秀昭
(伊丹)



池永 明義
(伊丹有明)

ベネファクター

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



林 健一
(川西猪名川)



早瀬 利典
(西宮)



平田 浩
(西宮)



廣田 宗玄
(西宮)



中島 清
(西宮)



中西 哲生
(西宮)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



中田 尚文
(西宮)



難波 仁
(西宮)



篠田 利正
(西宮)



津久井 進
(西宮)



山本 真作
(西宮)



東野 雅弘
(赤穂)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェロー



寺本 英徳
(上郡佐用)



半田 充
(上郡佐用)



西川 英也
(赤穂)

ご寄付ありがとうございます(敬称略・クラブ順)

米山功労者メジャードナー(16回)



山本 秀憲
(神戸六甲)

米山功労者メジャードナー(12回)



坂部 典生
(神戸六甲)

米山功労者メジャードナー(10回)



東 國隆
(神戸六甲)

米山功労者(8回)



善國 高豊
(神戸垂水)

米山功労者(6回)



伊藤 勝皓
(明石東)

米山功労者(5回)



武本 正照
(尼崎北)

米山功労者(3回)



佐野 幸司
(尼崎北)



田中 久雄
(伊丹)

ガバナー事務所からのお知らせ

◆柏原ロータリークラブ「クラブの魅力・自慢」訂正とお詫び

月信6号10ページ6、7行目の「ローターアクトクラブ」はすべて「インターアクトクラブ」の間違いです。訂正しお詫びいたします。

1月の地区活動予定

日 時	行 事 名	場 所
16日(土) 16:00~18:00	第6回米山記念奨学委員会	神戸ポートピアホテル 菊水の間
30日(土) 13:30~15:30	第6回RLI小委員会	オンライン
31日(日) 12:30~	淡路G ロータリーグループフェスタ	洲本市文化体育館 文化ホール

ご冥福をお祈り申し上げます



故 山村 俊郎 氏(尼崎)
11月22日 享年79歳



故 美崎 教正 氏(神戸六甲)
11月27日 享年89歳

地区大会のお知らせ



RI 会長代理

水野 功氏

2750地区 東京飛火野RC
2015-16年度 ガバナー
2019-22年度
第2地域ロータリーコーディネーター



元プロ野球選手 (読売巨人軍)
元メジャーリーガー

桑田 真澄氏
『試練は人を磨く』

2021年 **3月7日(日)**

今回は1日での開催となります。

会場 神戸ポートピアホテル

主なプログラム

- 10:00~ 大会特別委員会
- 11:00~ 会長・幹事会
- 13:00~ 本会議
- 15:30~ 特別講演 桑田 真澄氏
- 18:00 本会議 閉会

★新型コロナウイルス感染症対策として、会場の入場者について人数制限を設けます。同時にオンラインによるライブ配信を行いますので、一部会員の皆様には、オンラインでの参加をお願いすることになります。予めご了承ください。(但し、オンラインで視聴できるのは登録いただいた会員に限定させていただきます。)

★緊急事態が発出されていたり、県からの要請等がある場合、プログラムを変更、中止する場合があります。